

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（指宿市）

事業名	指宿市生涯学習フェスティバル及び家庭教育支援キャラバン「親子すくすくフェスタ」	実施時期	令和6年11月30日（土）
趣旨又は目的	団体の関係者が一堂に会し、学習成果や活動発表などを見聞することで、今後の各自の学習活動を考える機会とし、潤いと活力に満ちた豊かなまちづくりを推進する。（生涯学習フェスティバル） 大型商業施設やイベント等の多くの人が集まる場所等において、家庭教育支援に関する情報提供や広報活動を関係部局や関係機関・団体等と連携して行うことにより、県民全体が家庭教育について理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高める。（親子すくすくフェスタ）		
参加者	地域住民延べ約1300人		
活動概要	指宿市教育委員会が例年開催している「指宿市生涯学習フェスティバル」と同日同会場で、県教育委員会主催事業である家庭教育支援キャラバン「親子すくすくフェスタ」を開催した。 生涯学習フェスティバルでは、生涯学習講座における成果物の展示や披露、青少年を対象としたデザイン思考を育むワークショップの開催、図書館による読み聞かせ会を行った。 親子すくすくフェスタでは、ものづくりワークショップや親子体験ブース等を設置した。 両事業をとおして、青少年から高齢者まで多くの地域住民が集い、学びを深める場となった。		
活動写真 [説明]	 生涯学習フェスティバル①  生涯学習フェスティバル②  親子すくすくフェスタ		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 南さつま市 ）

事業名	第2回市校外生活指導連絡会	実施時期	11月22日（金）
趣旨又は目的	南さつま市PTA連絡協議会と南さつま市生活指導研究協議会の協力連携のもと、南さつま市内の児童生徒の健全な成長と豊かな心情を培うため、校外における指導を充実することを目的とする。		
参加者	市内小、中、義務教育学校、高等学校それぞれのPTA代表、学校長、生徒指導担当者、市教育委員会職員、鹿児島県人権同和対策課人権研修推進員等 計45人		
活動概要	1 開会のことば 2 開会のあいさつ（市校外生活指導連絡会会長） 3 市教育委員会あいさつ 4 講話 鹿児島県人権同和対策課 人権研修推進員 常深透 様 テーマ「キラリ輝く南さつま市のこどもたちへ」 ～あなたの生徒指導のイメージは何色？～ 5 ブロック別協議省と今後の取組等について （1）校外指導（情報交換等） （2）その他（報告） 6 閉会のあいさつ（副会長） 7 閉会のことば		
活動写真 [説明]	  【 講 話 の 様 子 】   【 ブ ロ ッ ク 別 協 議 の 様 子 】		

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 南九州市 ）

事業名	南九州市青少年問題協議会	実施時期	令和 6 年 11 月 6 日
趣旨又は目的	青少年の健全育成に関する総合的な施策の樹立について必要な事項の調査審議及び適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図ることを目的とする。		
参加者	20人（委員14人，事務局 6 人）		
活動概要	会議は，令和 5 年度の本協議会における意見のまとめ及び市校外生活指導連絡会の取組，本市の不登校・いじめ問題の状況等並びに本市の児童虐待相談対応の状況について市担当者から，また，県及び本市の青少年の非行状況等について南九州警察署から報告などを行った。 その後，本市の青少年育成の推進に向けての協議に入り，委員から大人がインターネットや SNS の危険性などを学ぶ必要がある，継続した声かけや登校の見守りの実施，電子機器や SNS の利用などについて「家庭のルール」を作ることが大切との意見などが出た。		
活動写真 [説明]	 青少年に関する諸問題を協議する委員		

令和 6 年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（ 南九州市 ）			
事業名	南九州市校外生活指導連絡会	実施時期	令和 6 年11月13日
趣旨又は目的	児童生徒の健全な育成のための学校内外における生活指導の充実を図ることを目的とする。		
参加者	56人（校長・生徒指導担当者・PTA会長など学校関係者52人，行政 4 人）		
活動概要	冬休みの生活指導申し合わせ事項の確認や教育委員会担当課から青少年問題協議会で出された話題・意見が報告された。その後，中学校区ごとに分かれて，①フィルタリングの設定 ②情報モラル教育の啓発 ③家庭内のルール作りなどについて協議し，その結果が報告された。		
活動写真 [説明]			

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

市町村名（枕崎市）

事業名	駒水ヤンセ踊り	実施時期	令和6年11月24日 (令和6年10月1日～11月30日)
趣旨又は目的	別府校区の駒水集落からヤンセ踊りの踊り手不足により，学校で伝統芸能学習を行ってもらえないかとの依頼があった。学校と駒水ヤンセ踊り保存会が連携・全面的な支援の下，6年生の総合的な学習の時間に「駒水ヤンセ踊り」を位置付けた。6年生児童を中心に地域ぐるみで駒水ヤンセ踊りを伝承していく体制を整えた。		
参加者	別府小学校6年生24名		
活動概要	学校と駒水ヤンセ踊り保存会との連携を図り，伝統芸能継承学習を展開した。その際，事前に保存会と綿密な打ち合わせを行ったり，用具購入等における予算確保，また，事前体験や練習に多くの方々の御協力をいただいたりしながら，10月上旬より練習を重ね11月6日の学校での発表会，11月24日の第7回郷土芸能大会での披露を行った。		
活動写真			
	11月6日 発表会		
[説明]			
	11月24日 郷土芸能大会		

令和6年度「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」強調月間における特色ある取組

		市町村名（枕崎市）	
事業名	塩屋笠踊り・四ツ竹踊り	実施時期	令和6年11月1日 (令和6年9月1日～11月30日)
趣旨又は目的	立神地区の塩屋地域で戦後、長年引継がれてきた伝統芸能の笠踊り・四ツ竹踊りを公民館活動に組入れることで地域の運動会や敬老会、公民館祭り等で披露したり、市の文化祭や各種イベントに参加してきた。現在の少子化にともなって、中学1年生から中学3年生までの女子を対象にして、取組んでいる。伝承活動として、これからは塩屋地域の小・中学生女子で引き継いでいくと思われる。		
参加者	立神中学校2・3年生（塩屋地域の女子）10名		
活動概要	長年、塩屋地域で継承されてきているが平成26年頃から立神中学校の文化祭での披露を始めた。地域の中学2・3年生女子が中心となり披露しているが正式な装束衣装では着付けに時間がかかるため、法被を着ての出演となっている。また、地域の公民館や敬老会などでも披露している。 今年は11月1日に立神中学校文化祭で披露した。		
活動写真 [説明]	  11月1日 中学校文化祭（塩屋笠踊り） 中学校文化祭（塩屋四ツ竹踊り）		